県内中小企業（製造業）景況動向

平成30年10月～12月期

回復基調にあるものの、先行きが危ぶまれる

本会調査結果概要

30年4月～6月	30年7月～9月	30年10月～12月	来期見通
DI平均値▲13.0	DI平均値▲11.0	DI平均値▲5.9	DI平均値▲8.6

概況

売上高と収益性を合せたDI平均値（同期比）については▲5・9となり、前回調査（30年7－9月期）の▲11・0から5・1ポイント上昇している。来期見通しにおいては2・7ポイント下降して▲8・6となっている。

売上高DI（同期比）については1・2となり、前回調査から7・6ポイント上昇している。来期見通しにおいては4・3ポイント下降して▲3・1となっている。

収益性DI（同期比）については▲12・9となり、前回調査から2・7ポイント上昇している。来期見通しにおいては1・2ポイント下降して▲14・1となっている。

業況DI（同期比）については▲6・6となり、前回調査から2・6ポイント上昇している。来期見通しにおいては3・3ポイント下降して▲9・9となっている。

原材料価格DI（前期比）については50・7となり、前回調査から3・2ポイント上昇している。

販売価格DI（前期比）については7・4となり、前回調査から3・4ポイント上昇している。

資金繰りDI（前期比）については▲7・0となり、前回調査から0・9ポイント上昇し、好転している。

金融機関の態度DI（前期比）については2・0となり、前回調査から1・2ポイント上昇し、緩和している。

設備投資実施率については31・9％となり、前回調査から2・6ポイント上昇している。業種別で高い実施率となったのは「食料品」・「プラスチック製品」で、目的別では「増産」が25・9％でトップとなっている。また、来期の設備投資計画率については33・5％となった。

設備操業率DI（前期比）については▲0・5となり、前回調査から7・0ポイント上昇している。

雇用人員判断DI（前期比）については26・1となり、前回調査から1・1ポイント下降しているが、依然として不足感が続いている。

業種別景況動向

食料品

4－6	7－9	10－12	来期見通
▲33.4	▲38.1	▲22.2	3.4

同期比の売上高ＤＩは▲17.7、収益性ＤＩは▲26.7で、両方を合せたＤＩ平均値は▲22.2となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは25.6ポイントの大幅上昇で3.4となり「曇」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは4.5、収益性ＤＩは▲10.0となった。

また、雇用人員判断ＤＩは25.0、設備操業率ＤＩは5.1、設備投資実施率は44.2%となった。

繊維・同製品

4－6	7－9	10－12	来期見通
1.7	▲5.6	▲17.3	▲13.8

同期比の売上高ＤＩは▲10.3、収益性ＤＩは▲24.2で、両方を合せたＤＩ平均値は▲17.3となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは3.5ポイント上昇して▲13.8となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは▲24.2、収益性ＤＩは▲31.6となった。

また、雇用人員判断ＤＩは22.2、設備操業率ＤＩは▲21.0、設備投資実施率は31.0%となった。

紙・加工品

4－6	7－9	10－12	来期見通
15.4	6.3	15.4	▲23.1

同期比の売上高ＤＩは30.8、収益性ＤＩは「好転」、「悪化」ともに7.7％で0.0、両方を合せたＤＩ平均値は15.4となり「薄日」模様に転じている。来期見通しは38.5ポイントの大幅下降で▲23.1となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは23.1、収益性ＤＩは▲30.8となった。

また、雇用人員判断ＤＩは15.4、設備操業率ＤＩは7.7、設備投資実施率は7.7％となった。

木材・木製品

4－6	7－9	10－12	来期見通
▲18.2	▲21.6	▲35.0	▲35.0

同期比の売上高ＤＩは▲20.0、収益性ＤＩは▲50.0で、両方を合せたＤＩ平均値は▲35.0となり「雨」模様に転じている。来期見通しは今回調査と同じく▲35.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは▲10.0、収益性ＤＩは▲40.0となった。

また、雇用人員判断ＤＩは33.3、設備操業率ＤＩは▲33.3、設備投資実施率は20.0％となった。

金属・同製品

4－6	7－9	10－12	来期見通
0.1	10.7	20.8	▲1.6

同期比の売上高ＤＩは26.5、収益性ＤＩは15.1で、両方を合せたＤＩ平均値は20.8となり「薄日」模様が続いている。来期見通しは22.4ポイントの大幅下降で▲1.6となり「曇」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは20.6、収益性ＤＩは11.1となった。

また、雇用人員判断ＤＩは29.6、設備操業率ＤＩは7.4、設備投資実施率は28.1％となった。

窯業・土石製品

4－6	7－9	10－12	来期見通
▲26.2	▲32.5	▲15.6	▲9.1

同期比の売上高ＤＩは▲8.9、収益性ＤＩは▲22.3で、両方を合せたＤＩ平均値は▲15.6となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは6.5ポイント上昇して▲9.1となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは11.1、収益性ＤＩは5.0となった。

また、雇用人員判断ＤＩは40.0、設備操業率ＤＩは「上昇」、「下降」ともに12.5％で0.0、設備投資実施率は17.8％となった。

プラスチック製品

4－6	7－9	10－12	来期見通
▲23.1	▲20.0	3.6	▲10.8

同期比の売上高ＤＩは▲7.1、収益性ＤＩは14.3で、両方を合せたＤＩ平均値は3.6となり「曇」模様に転じている。来期見通しは14.4ポイント下降して▲10.8となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは7.1、収益性ＤＩは15.4となった。

また、雇用人員判断ＤＩは15.4、設備操業率ＤＩは「上昇」、「下降」ともに23.1％で0.0、設備投資実施率は42.9％となった。

機械・機器

4－6	7－9	10－12	来期見通
▲3.4	9.0	1.5	▲10.3

同期比の売上高ＤＩは11.7、収益性ＤＩは▲8.8で、両方を合せたＤＩ平均値は1.5となり「曇」模様が続いている。来期見通しは11.8ポイント下降して▲10.3となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高ＤＩは14.7、収益性ＤＩは▲4.8となった。

また、雇用人員判断ＤＩは21.0、設備操業率ＤＩは1.7、設備投資実施率は39.7％となった。